

会 議 録

会議名		令和5年度第1回相模原市障害者自立支援協議会全体会議		
事務局 (担当課)		社会福祉法人相模原市社会福祉事業団 電話 042-758-2121		
開催日時		令和5年7月14日(金) 午前10時から11時10分まで		
開催場所		障害者支援センター松が丘園 3階 研修室1・2		
出席者	委員	出席 15人 欠席 4人		
	事務局	7人 相模原市：高齢・障害者福祉課 3人 社会福祉事業団：生活相談課 4人		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	2名
公開不可・一部不可の場合は、その理由		/		
会議次第		<ol style="list-style-type: none"> 1 委嘱状について 2 委員および事務局職員自己紹介 3 自立支援協議会設置要綱について 4 会長および副会長の選出について 5 議 事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和3、4年度の相模原市障害者自立支援協議会活動報告 (2) 令和5年度の体制、各部会の役割等について (3) 令和5年度重点目標について (4) その他 6 事務連絡 <ol style="list-style-type: none"> (1) 次回日程について 7 閉 会 		

令和5年度第1回相模原市障害者自立支援協会委員名簿及び出欠状況

No.	区 分	所属・職	氏 名	出欠
1	障害者等関係団体	相模原市障害福祉事業所協会 会長 (くりのみ学園 園長)	いまい やすのり 今井 康雅	出
2		相模原市障害福祉事業所協会 総務 (津久井やまゆり園 園長)	ながい きよみつ 永井 清光	出
3		相模原市障害福祉事業所協会 総務 (やまびこ工房 施設長)	にしむら きぶろう 西村 三郎	出
4		相模原市障害者地域作業所等連絡協議会 会長	まえざわ よういち 前澤 陽一	出
5		(福)相模原市社会福祉協議会 南区事務所長	あべ ゆきお 阿部 幸夫	出
6		相模原市民生委員児童委員協議会 常任理事	きたがわ はるえ 北川 春恵	欠
7	指定相談支援事業者	橋本障害者地域活動支援センター ぷらすかわせみ 施設長	なかたに まさよ 中谷 正代	出
8		こども相談支援リボン 所長 (NPO法人ワンダートンネル 理事長)	ちや ふみこ 千谷 史子	欠
9	障害者等及び その家族	(特非)相模原市障害児者福祉団体連絡協議会 理事	かたおか かよこ 片岡 加代子	欠
10		(特非)相模原市障害児者福祉団体連絡協議会 理事	まちだ こういち 町田 紘一	出
11		(特非)相模原市障害児者福祉団体連絡協議会 理事	まつばら みちこ 松原 充子	出
12	保健・医療関係者	相模原市医療ソーシャルワーカーの会 (北里大学病院トータルサポートセンター ソーシャルワーカー)	すずき みわこ 鈴木 身和子	出
13	教育関係機関の職員	神奈川県立相模原中央支援学校 支援連携グループ 部長	かが ひとみ 加賀 仁美	出
14		教育局学校教育部学校教育課長	まつばら ひろかず 松原 弘和 (代理出席)	出
15	関係行政機関の職員	健康福祉局地域包括ケア推進部 地域包括ケア推進課長	みぞぐち あきら 溝口 昭 (代理出席)	出
16		健康福祉局地域包括ケア推進部 高齢・障害者福祉課長	ぬまた よしあき 沼田 好明	出
17		健康福祉局地域包括ケア推進部 精神保健福祉課長	いわた たかゆき 岩田 隆之	欠
18		こども・若者未来局陽光園 所長	やまもと かつや 山本 克哉	出
19	学識経験者	田園調布学園大学 教授	むらい ゆういち 村井 祐一	出

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

1 委嘱状について

高齢・障害者福祉課より、次のとおり説明があった。

設置要綱第3条の規定に基づき委員の委嘱をしており、任期が令和5年4月1日から令和7年3月31日までである。

2 委員および事務局職員自己紹介

資料1に沿って自己紹介を行った。

3 自立支援協議会設置要綱について

高齢・障害者福祉課より、資料2に沿って説明があった。

4 会長および副会長の選出について

委員の互選により、村井委員が会長に、今井委員が副会長に選出された。

5 議 事

(1) 令和3、4年度の相模原市障害者自立支援協議会活動報告

事務局より、資料8に沿って説明を行った。

意見等は次のとおり。

(村井会長)

各部会、各区課題検討会では、毎年成果物を作り上げ、蓄積されてきている。これらの成果物をさらに現場で活用し、見直し及びバージョンアップして行くことが大きなテーマになると考える。継続性を担保しながら発展させていきたい。

(2) 令和5年度の体制、各部会の役割等について

事務局より、資料3から資料6に沿って説明を行った。

意見等は特になし。

資料5及び資料6のとおり、承認された。

(3) 令和5年度重点目標について

事務局より、資料7に沿って説明を行った。

意見等は次のとおり。

(西村委員)

資料5にある体制等については理解することはできたが、資料3にある構成員の変更のポイントや狙いについて教えてほしい。また、協議会パンフレット等はホームページ上に成果物として掲載されていくが、昨年度権利擁護・虐待防止検討部会で開催された研修等のプログラムについての普及啓発についてはどのような方向性になっているか知りたい。

(事務局)

資料5の構成員の変更については、各部会の検討内容を鑑みてより議論が活発化されるよう見直しを図った。具体的には、運営会議に基幹相談支援センターが追加されたこと、人材育成部会に福祉研修センターが追加されたこと、区課題検討会に若者サポートステーションが追加された。また、研修の普及啓発については、対応を検討していきたいと考えている。

(4) その他

ア 高齢・障害者福祉課より、相模原市人権尊重のまちづくり条例の制定について、資料9に沿って情報共有があった。

意見等は特になし。

イ 事務局より、令和4年度基幹相談支援センター及び障害者相談支援キーステーションの実績について、資料10及び資料11に沿って説明を行った。

意見等は次のとおり。

(今井副会長)

相談支援事業所での基本相談になかなか時間やエネルギー、人材を配置する余裕がないという現状の中で、それぞれ資料の「(1) 総合相談・専門相談」の件数部分について非常に多くなっているが、その内訳を知りたい。

(事務局)

基幹相談支援センターについて、新規相談については年間で150件程だが、各相談に対して支援を展開していく中での電話対応等も含めた計上方法をとることで記載されている件数になっている。また、障害者相談支援キーステーションについても計上方法は同様である。ただし、他機関支援についての対応件数は計上されておらず、年間155件程となっている。

(村井会長)

全体件数が増えている中で、カテゴリー別、地区別等の件数の増減をデ

ータとしてまとめておくと良い。3年から5年程度の経年変化がどうなっているのか等を整理しておくことで地域課題の可視化にも繋がり、そういった情報を自立支援協議会で共有することが大切であるとする。

(事務局)

資料を作成し、示していきたい。

6 事務連絡

(1) 次回日程について

事務局より、令和5年度年間予定について、資料12に沿って連絡を行った。

次回：令和5年10月20日 午前10時から正午まで

次々回：令和6年2月16日 午前10時から正午まで

7 閉会

永井委員より、閉会の挨拶があった。

以 上